



大正11年10月21日（成年）

に、由田家の次男として生を受けた。昭和17年9月、20歳の時に大学を繰り上げ卒業させられ、徴兵検査に合格。白島にあった第7部隊に配属され、その後、宇品港から貨物船に乗せられて、中国の河陽鎮（かようちん）に到着。河陽鎮に着いても連日教練ばかりで、実際に撃ち合いをしていない。が、鉄橋の修理中、急に金属音が近づき、橋梁の下からパイロットの顔が確認できるくらい距離まで敵機が急降下し、機銃掃射を浴びた。ともかく怖かった。私は運良く銃弾を浴びずに済んだが、今でも「助けてくれ〜」痛いよ〜〜」という悲痛な叫び

## 自分史「お国のため」より

ケアハウス

由田

賢一様（87歳）

が耳に残る。

四平（しへい）で終戦を迎え、間もなくソビエト軍がマンドリンのような機関銃を携行して入ってきた。「ウラジオストック経由で舞鶴へ帰るんだ」との触れ込みで、シベリア鉄道の貨車に乗せられ、昭和20年11月3日、シベリアのウスチカメノグルスクに到着。そこで捕虜として2年間抑留された。最低外気温はマイナス35度になる地で、亜鉛の鉱石を採掘する鉱山内の作業に従事。捕虜生活が一番辛かったのは「空腹」で、頭の中は食うことしか考えていなかった。記憶が薄く、前後の経緯は定かではないが、昭和22年10月にナホトカ港から帰国。引き上げ船から舞鶴の松林が視界に入った時には、「何う美し〜」



昨年11月、聞き取りで作成された自分史から抜粋させていただきました。お母様は百六歳で他界されたとのこと。由田様、お元気にその年齢を超えてくださいな。

と感激した。10月9日、午前2時に海田市駅に到着し、徒歩で帰宅。両親と妹と感激の再会を果たした。その後は、戦後の大混乱期から一生懸命働き、現在87歳。「お国のため」とは言え、よく生きていた。

## 本部より

### ★第5回 事例研究発表会開催迫る

より良い介護サービスの質向上を図ることを目的とした、事例研究発表会が開催されます。

各事業所の介護現場での業務に直結した事例発表がありますので、介護に関心がおありの方はどなたでもご来場ください。

- 日時 3月28日（日）  
13時〜15時30分
- 場所 安芸中野事業所  
3階会議室

### ★後藤理事長再選される

1月16日の理事会において、後藤忠啓理事長が再選されました。任期は1月18日より2年間で、後藤理事長は3期目を迎えられること。



### ★じらく同窓会

慈楽福祉会のOBで組織されている「じらく同窓会」の近況を報告いたします。当会は慈楽福祉会創立30周年を機に、平成18年4月に結成（前身は「やすらぎ会」）。施設内の行事（バザー、ミニ喫茶等）のボランティアなどをいただいております。また、親睦旅行（直近では、昨年11月に志和の「湖粹園」へ十数名が参加）にも出かけ、旧交を温めています。是非、多数の方のご参加をお待ちしています。

（連絡先／法人本部）  
☎082-18993-88006



心を込めて

## 「ありがとう！」⑤

安芸中野事業所の縁の下の力持ち

文野 正治さん（70歳）



日から「と頼まれて、働くことになったんです。」

担当は特養のトイレ掃除、手すりの消毒、1階から3階の階段掃除など。夕方には、煩雑な「ミ」の仕分け作業もお願いしています。「ここで働くようになってから、骨密度も高くなり、以前より元気になりました。元気な間は、皆さんのお役に立ちたい」と、笑顔で話してくださいました。

趣味はパソコン、将棋、読書、マージャン、ちぎり絵と実に多彩。ヘルパー2級の資格も持っておられるそうです。「最近ばかり絵もあまりしてなくて、以前作った鯉が金魚になったよ」と、冗談も絶好調。とても生き生きな方です。

私たち職員だけではなかなか行き届かない施設内の掃除を、文野さんたちシルバーさんがいつも細かい心配りで助けてくださっています。そんな縁の下で支えてくださっている皆様、いつも感謝しています。これからも、どうぞよろしくお願ひします！

- ひな祭り
- お茶会
- 社会見学
- 花見

3・4月行事

## 安芸中野事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野三丁目9番5号  
TEL (082) 893-3360 FAX (082) 893-0522  
E-mail/akinakano@jiraku.or.jp

- ケアハウス
- 法人本部
- 特別養護老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービスセンター
- ホームヘルパー
- 居宅介護支援事業所

## サツマイモ、大収穫！



昨秋、新館裏の花壇で芋掘りを行いました。

まずは6月に苗を植えることからスタート。新館の笹野様・内田様・大村様を中心に、足腰は弱ってきたけれど園芸作業が好きというお客様たちが、ご家族や入所されている養護の方々にコツを教えてくださいながら、苗植えを行いました。当日は、お客様の底力を見る思いでした。職員も暑いと感じる中、「疲れたので休みましょう」と声を掛けても、誰もがカマを持つ手を休めようとせず、こつこつと苗を植え終えました。

苗は日に日に根を張り、青々と育つツルをお客様と職員と



大きいのが  
取れたよ〜！

で見守りました。可憐なサツマイモの花を楽しみ、育てる喜びを存分に味わいました。そしていよいよ芋掘りです。苗植えをした方々が中心となり、一つ一つ掘り出していくと、「ちゅんちゅん」と、これは大きいよ」と声が上がりました。手には小さくさまざまな芋を握りしめ、皆さんすてきな笑顔。収穫したサツマイモは、「大学芋」にして、文化祭のミニ喫茶で皆様に召し上がっていただき、大好評でした。

今、花壇では「タマネギ」を育てています。次は元気の出る野菜スープを作り、おいしくいただく予定です。今後、お客様と一緒に季節の野菜作りに挑戦していきます。

## 瀬野川ホーム事業所

〒739-0323 広島市安芸区中野東二丁目34番1号  
TEL (082) 893-1888 FAX (082) 893-1887  
E-mail/senogawa@jiraku.or.jp

- 特別養護老人ホーム
- 養護老人ホーム
- デイサービスセンター

- 天童防災春季訓練
- 彼岸法要
- お花見
- バザー
- 家族会総会

3・4月行事